

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 29 日 (13 : 00～13 : 30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	わきあいあい 総職員 16 人 会議参加 16 人 (常勤 7 名)

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	10 人	5 人	1 人	人	16 人

前回の改善計画	利用者、家族から丁寧に話を聞き協働し現状の確認、解決すべき課題の把握、阻害する要因などの整理、望む生活を多職種でアセスメントしサービス利用の不満足などについて定期的に声かけを継続して行っていく
前回の改善計画に対する取組み結果	個々の利用者・家族から丁寧に話を聞き現状の確認、望む生活にむけて多職種でミーティングにて共有ができています。各職員が定期的に研修に参加し報告共有していくことで必要としている支援の実現に向け学習に取り組んでいる。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	7 人 (常勤 4 人)	9 人 (常勤 4 名)			16 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	8 人 (常勤 4 人)	8 人 (常勤 3 人)			16 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	10 人 (常勤 3 人)	6 人 (常勤 4 名)			16 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4 人 (常勤 2 人)	10 人 (常勤 4 名)	2 人 (常勤 1 名)		16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
多職種を含め職員会議、担当者会議や介護計画の見直しの会議に参加し情報の共有、支援の統一ができています。日々のミーティングから利用者や家族の声を共有し何を必要としているか職員間で考え支援に移すことができています。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
家族との関係づくりや家族の思いをくみ取ることがまだまだ不十分と感じることが多い。家族からの発信待ちになってしまっている。定期的に声掛けが不十分と感じた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者、家族からの話を定期的に聞き取り、要望だけでなくサービスの不安や不満を明確化していく。情報を職員間で共有し多職種で必要としている支援が継続し提供できるよう利用者、家族との関係性作りに配慮していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 6 年 10 月 29 日 (13 : 00～13 : 30)
-----	-------------------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー	わきあいあい 総職員 16 人 会議参加 16 人 (常勤 7 名)
------	---------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	7 人	9 人	人	人	16 人

前回の改善計画	
自ら発信が困難な利用者は家族と相談しながら本人に合った支援を行っていく	
前回の改善計画に対する取組み結果	
自ら発信が困難な方にも本人の身体状態や家族の話から「～したい」という当面の目標を職員間で確認し把握することができている。支援が単発的になってしまうことがあり継続できるよう具体的に考える必要性を感じた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	3 人 (常勤 1 人)	11 人 (常勤 6 人)	2 人		16 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	4 人 (常勤 2 人)	9 人 (常勤 4 人)	3 人 (常勤 1 人)		16 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	4 人 (常勤 2 人)	10 人 (常勤 4 人)	2 人 (常勤 1 人)		16 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	3 人 (常勤 2 人)	12 人 (常勤 5 人)	1 人		16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
自ら発信が困難な方にも本人の身体状態や家族の話から「～したい」という当面の目標を職員間で確認し把握することができている。実践し関わった内容をミーティングにて各職員が発言し振り返り次の対応を職員間で考えることができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の「～したい事」関わった内容が単発的になってしまっている。次の対応に活かせるようミーティングにて職員間で考えることができているが次の対応に移るまで時間がかかってしまう。発信が困難な方にはまだまだアプローチ不足。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
「～したい」という目標に対する関りが単発的にならないよう継続的に実現可能な内容を職員間で具体的に考え、次の対応に活かせるようにしていく。発信が困難な方へは家族との相談聞き取りも継続しアプローチしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 6 年 10 月 29 日 (13 : 00～13 : 30)
-----	-------------------------------------

3. 日常生活の支援

メンバー	わきあいあい 総職員 16 人 会議参加 16 人 (常勤 7 名)
------	---------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	9 人	7 人	人	人	16 人

前回の改善計画	本人の日常生活の中で出来る所、出来ない所を見直し家族にも伝達することで職員と家族の認識をすり合わせていく
前回の改善計画に対する取組み結果	日常生活の中で関わって分かったことを家族にも情報共有することで家族との認識のすり合わせを行うことができた。その中でそれぞれの利用者の生活環境の把握、情報の共有を職員間で行えたが 10 個以上の把握はまだ難しい。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	6 人 (常勤 4 人)	8 人 (常勤 2 人)	2 人 (常勤 1 人)		16 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	10 人 (常勤 5 人)	6 人 (常勤 2 人)			16 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	7 人 (常勤 2 人)	8 人 (常勤 5 人)	1 人		16 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	10 人 (常勤 4 人)	6 人 (常勤 3 人)			16 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6 人 (常勤 3 人)	9 人 (常勤 3 人)	1 人 (常勤 1 人)		16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人のその時々での身体状態に合わせ食事・入浴・排泄などの基礎的な介護の実践は職員それぞれが気づき出来ている。本人の気持ちや体調の変化にも気付くことができその日いる職員で共有出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方 10 個以上の把握ができていない。家族や本人の声にならない声をチームで気づいていても言語化するのに根拠がなくあいまいになってしまう。誰かに判断を仰いでしまうため即時的に支援ができず対応が遅れてしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
以前の暮らし方の情報の把握を引き続き行う中で本人の声にならない気持ちや体調をチームで言語化できるよう日々の関りの記録を充実させ変化に誰もが気づき支援できる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 6 年 11 月 26 日 (13 : 00～13 : 30)
-----	--------------------------------------

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	わきあいあい 総職員 16 人 会議参加 16 人 (常勤 7 名)
------	---------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	8 人	3 人	人	16 人

前回の改善計画	多数の職員が地域に関わることができるよう心掛けるとともに、地域行事にはできる限り多くの家族・地域の方にも参加できるように工夫していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	多数の職員が利用者それぞれの地域に関心を持つことでこれまでの生活スタイルや人間関係から情報共有し地域行事に参加、または参加できるよう声かけを行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	7 人 (常勤 4 人)	7 人 (常勤 2 人)	2 人 (常勤 1 人)		16 名
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	6 人 (常勤 4 人)	8 人 (常勤 2 人)	2 人 (常勤 1 人)		16 名
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	6 人 (常勤 3 人)	9 人 (常勤 3 人)	1 人 (常勤 1 人)		16 名
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2 人 (常勤 1 人)	7 人 (常勤 4 人)	7 人 (常勤 2 人)		16 名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の生活スタイルや人間関係、直接接していない時間どのように過ごしているか等は送迎時や本人との会話から理解しミーティングや申し送りにて職員間で把握できている。家族や地域との関係は常に変化することを念頭に入れ、家族や地域の人との関わりに変化がないか観察をすることで対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者によって本人の暮らしに必要な地域の資源について具体的に情報を得る方法手段が分からないため把握できていない。本人と家族・介護者、地域の関係が分かっている関係が切れないよう継続できるよう対応していくにはどうしたらいいか職員間でアセスメントできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人の暮らしの中で地域との関係が常に変化しながらも関係が継続するよう事業所を利用していない時間どのように過ごしているか情報収集し把握していく。行事や地域資源の情報収集も継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 6 年 11 月 26 日 (13 : 00～13 : 30)
-----	--------------------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	わきあいあい 総職員 16 人 会議参加 16 人 (常勤 7 名)
------	---------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	7 人	6 人	3 人	人	16 人

前回の改善計画	利用者により地域資源の利用に差があるが、まだまだ知らない資源があるかもしれない。職員が地域資源について学ぶことで新たに見つけられるかもしれないのでそういう視点をもってサービスに取り組む・利用者の何かを支援すべきか職員が分かりやすいように明確化の継続
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の状態に合わせ柔軟に地域資源についてアンテナを張ることで「何を必要としているか」「何を望んでいるか」を職員それぞれが考えることが出来た。 自分たちで支援したいという思いが強く地域資源を使う機会がやはり少なかった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3 人 (常勤 3 人)	9 人 (常勤 2 人)	4 人 (常勤 2 人)		16 名
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	11 人 (常勤 5 人)	5 人 (常勤 2 人)			16 名
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	11 人 (常勤 5 人)	5 人 (常勤 2 人)			16 名
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	8 人 (常勤 3 人)	8 人 (常勤 4 人)			16 名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 体調や気持ちの変化にも気付ける利用者との信頼関係がそれぞれに築けていることでニーズや家族の状態・本人の状態に合わせ「通い」「訪問」「宿泊」が適時提供できている。 急な予定の変更にも即日対応支援出来ている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 自分たちで支援したいという思いが強かったり本人自身の意欲を引き出すことが出来ず、地域資源を使う機会がやはり少なかった。 日々の関りや些細な変化記録にすべて残せていない。ミーティングに参加できていないと情報の共有が抜けている部分も出てくる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) その日その時の本人の状態を気付いた人が具体的に記録に残していき情報の共有がすべての職員間で出来るようになっていく。その中で柔軟に支援が出来るよう事業所だけで支えようとせずに地域の資源を使っていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 6 年 11 月 26 日 (13 : 00～13 : 30)
-----	--------------------------------------

6. 連携・協働

メンバー	わきあいあい 総職員 16 人 会議参加 16 人 (常勤 7 名)
------	---------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5 人	8 人	3 人	人	16 人

前回の改善計画	今後も可能な範囲で利用者の地元の催しものには継続して参加してみる サービス担当者会議に担当職員も参加する
前回の改善計画に対する取り組み結果	利用者の地元の催しものには参加できるものは継続し参加できている。 サービス担当者会議に担当職員も参加することが出来たがまだまだ参加の頻度は低く情報収集の積極性がみられない。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか？	5 人 (常勤 3 人)	9 人 (常勤 2 人)	2 人 (常勤 2 人)		16 名
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3 人 (常勤 2 人)	12 人 (常勤 4 人)	1 人 (常勤 1 人)		16 名
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか？	5 人 (常勤 3 人)	9 人 (常勤 3 人)	2 人 (常勤 1 人)		16 名
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	8 人 (常勤 5 人)	8 人 (常勤 2 人)			16 名

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域住民が飾りもの (絵) やイチジク (畑でとれたもの) をもって訪れることがあったり夏祭りなどに子供が遊びに来たりと事業所が地域と連携を取りやすいよう開けた場所になっている。 地域の活動イベントは情報が入れば積極的に計画し希望者参加できている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 医療機関、訪問看護、福祉用具との会議等はケアマネージャーや管理者看護職が把握していることが多く参加や情報の共有は出来ていない部分もある。 自治体との関係づくりが出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 医療機関、訪問看護、福祉用具との会議等はケアマネージャーや管理者看護職に限らず担当職員も参加できるものは参加していく。 地域の各種機関 (自治会や町内会、婦人会、消防団) との関係づくりから始めるためイベント等の情報収集を行っていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 6 年 12 月 26 日 (13 : 00～13 : 30)
-----	--------------------------------------

7. 運営

メンバー	わきあいあい 総職員 16 人 会議参加 16 人 (常勤 7 名)
------	---------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	9 人	7 人	人	人	16 人

前回の改善計画	ミーティングでは職員の意見を出しやすい会議とする 地域の方も巻き込んだ防災訓練を行うなど積極的に地域の方との関係作りを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングが定着し意見を出しやすい環境が作ることが出来た。地域の方の意見を聞く機会を作ることで関係作りが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	11 人 (常勤 4 人)	4 人 (常勤 2 人)	1 人 (常勤 1 人)		16 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	11 人 (常勤 4 人)	5 人 (常勤 3 人)			16 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	10 人 (常勤 4 人)	6 人 (常勤 3 人)			16 人
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	9 人 (常勤 4 人)	7 人 (常勤 3 人)			16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者・家族からの意見や苦情はそのままにせずミーティングにて報告、共有出来ておりその都度担当職員や管理者、ケアマネにて対応出来ている。事業所のあり方について職員それぞれがどうしたらいいか考えることができ意見を言うことが出来ている。運営していく中で地域との関わり方を話合うことが出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
積極的に意見を言うことが出来ない職員がまだいる。家族・地域の方と直接的にかかわることが少ない職員は事業所のあり方に自分の思いが強くなってしまいう事あり、客観的にどのような意見が出ているか話合う機会、見返す機会はミーティングだけでは足りないように感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ミーティングの内容は記録に残し職員間で情報共有できるように工夫する。 ミーティングで共有した意見を運営にどのように反映していくか職員間で具体的に考えることが出来る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 12 月 26 日 (13 : 00～13 : 30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	わきあいあい 総職員 16 人 会議参加 16 人 (常勤 7 名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	10 人	6 人	人	人	16 人

前回の改善計画	資格取得に向け、法人としてバックアップがあるものに関しては研修委員が中心となり、情報を提供する。リスクマネジメントに関してヒヤリハット報告の段階で事故につなげないようにその都度、対策を行い、周知する。
前回の改善計画に対する取組み結果	資格取得対象職員には研修担当職員が中心となり情報収集、提供ができた。ヒヤリの報告の際には事故につながるリスクを職員間で話し合うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	13 人 (常勤 6 人)	3 人 (常勤 1 人)			16 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	10 人 (常勤 4 人)	6 人 (常勤 3 人)			16 人
③	地域連絡会に参加していますか	9 人 (常勤 4 人)	7 人 (常勤 3 人)			16 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	10 人 (常勤 4 人)	6 人 (常勤 3 人)			16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修担当職員が研修の情報を集め各職員がそれぞれ学びたいこと、スキルアップに関することに参加できている。その内容を職員間で報告、情報の共有し事業所内の介護の質向上が出来ている。ミーティングにて事故やヒヤリの情報共有が出来ており再発防止に向け話し合いができています。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事故やヒヤリの報告までに時間が空いてしまい再発防止の情報共有が即日性がない。スキルアップに積極的な職員と消極的な職員の間で意識の違いがみられる。興味がない分野に対し意欲が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
リスクマネジメントに関しヒヤリ・事故の情報共有だけでなく再発防止に向け各職員が考えることが出来る。各職員がいろいろな分野において資格取得、研修に参加し個人の力量を上げていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 6 年 12 月 26 日 (13 : 00～13 : 30)
-----	--------------------------------------

9. 人権・プライバシー

メンバー	わきあいあい 総職員 16 人 会議参加 16 人 (常勤 7 名)
------	---------------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	16 人	人	人	人	16 人

前回の改善計画	研修、委員会を定期的に行ってい、常に高齢者の権利擁護に努める姿勢を各職員がもつよう意識を高めていく
前回の改善計画に対する取組み結果	研修、委員会開催によって身体拘束、虐待において権利を守るためどのように意識を持つべきか学ぶことが出来た。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	16 人 (常勤 7 人)				16 人
②	虐待は行われていない	16 人 (常勤 7 人)				16 人
③	プライバシーが守られている	16 人 (常勤 7 人)				16 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10 人 (常勤 4 人)	6 人 (常勤 3 人)			16 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	16 人 (常勤 7 人)				16 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束・虐待は研修に参加したり職員間でお互いに不適切な行動や言葉遣いがないかチェックし合うことで防げている。 プライバシーに配慮し排泄や入浴は本人の気持ちに寄り添いそれぞれに工夫し対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度について知識が浅い。 成年後見制度対象者がいないため勉強不足になっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
定期的に勉強会や研修に参加し常に人権・プライバシーに関し意識を継続し持ち続ける。 虐待に結びつかないよう職員のストレスチェックやアンガーマネジメントにも積極的に行っていく。	